

選ばれる企業は、はじめてる

# SDGs

## をビジネスに

Sustainable Development Goals

身近な企業による取り組みやアイデアが、意外にもSDGsに関係していることをご存知ですか？ 環境や社会問題に目を向けることは、地域貢献となり、社会から信頼を得ることができるのはもちろん、新たなビジネスチャンスに繋がります。



Pick up!

はじめています

1. 地域に信頼される小児科クリニック
2. 急な発熱や病気の際に利用できる病児保育室「こあら」による地域支援
3. 地域に根ざす「彦根かんがー保育園」の運営
4. 1~3を通して、地域のニーズを叶えることで子どもに対するトータルケアを実現



医療法人

ふじの  
藤野こどもクリニック

☎0749-47-5311  
彦根市戸賀町36-6

心臓病、小児神経疾患の子どもたちを中心に診察してきた経験を生かし、2010年2月に小児科クリニックを開院。治療を通して地域から信頼されるクリニックを目指す。ほか、病児保育室「こあら」や「彦根かんがー保育園」を運営する。



ホームページ

ふじの ひでとし  
理事長 藤野 英俊 氏

「子どもは白衣を怖がることも多いから、あえて着用しないんです」と藤野氏。かわい壁紙や手作りのポップなどで彩られた院内はあたたかな雰囲気、空間に安心感があることから子どもと親の気持ちもケアしやすい。



地域に寄り添う小児科クリニックとして、理事長・藤野氏が地元で開院した「藤野こどもクリニック」。心臓病の子どもたちを中心に重症患者を診療をしてきた経験から、長期的な通院が必要になった場合にも、子どもの症状に応じた治療を負担のかからない医療で続けられるよう心がけているという。また、小児医療に関わるなかで、常々必要だと感じていたというのが病児保育室。クリニックを開院後、彦根市ほか4町の要請を受け、たことをきっかけにその想いを実現するに至った。小児科と病児保育が併設されているところは珍しく、保護者に代わって専任の保育



藤野こどもクリニック



病児保育室「こあら」



彦根かんがー保育園

コアラが子どもをやさしく包み込むイメージから名付けられた病児保育室「こあら」は、6名という定員が冬のインフルエンザ時期になるとすくすくいっぱいになるなど厚く信頼されている。「彦根かんがー保育園」にも今では多くの子どもたちが通う。

士と看護師が昼間の育児を支援してくれる。さらに地域からの声を受け、クリニックを医療法人化することで保育園の運営も開始。小規模保育からスタートし、4年という年月で信頼を積み重ねて、通常の保育園へと展開していった。「診療所・病児保育・保育園といったひと続きの事業が、地域の人の信頼に繋がっているのではないかと藤野氏。子どもに対するトータルケアを実現することで、事業そのものの「持続」も可能になると話してくれた。今では3つの事業の連携を通じて、地域に深く貢献している。

地域に根ざした信頼のクリニック  
子どもに対するトータルケアを実現